



市民の健康づくりを支援します



下水道の老朽化対策を進めます



持続可能な農業の実現を目指します

4 都市の機能と活力を高める

☆藤沢駅周辺地区の再整備については、藤沢駅南北自由通路拡幅の第1期工事に着手、駅前街区のデザインコンセプトを検討、南口駅前広場の再整備、指定管理者制度を活用したにぎわい創出事業などのプロジェクトを推進

☆村岡新駅周辺地区の整備については、新駅の詳細設計やまちづくりガイドラインの検討などを継続、官民連携事業に向けた取り組みなどを推進

☆健康と文化の森地区および新産業の森地区について、市街化区域編入や土地区画整理組合設立の認可に向けた取り組みを推進、地域経済の動向を踏まえたまちづくりの具体化に向けた検討を実施

☆MaaS(新たな移動サービス)などの技術革新や交通実態の変容などを踏まえた交通関連計画の見直し、善行長後線六会工区をはじめとする道路の計画的な整備

☆下水道事業における老朽化対策の着実な推進

☆企業立地を効果的に進めるため、市内空き工場・事業用地の調査を新たに実施

☆持続可能な農業の実現を目指し、優良農地の維持・保全に資する耕作条件改善の支援や農道整備を実施

5 未来を見据えてみんなではじめる

☆地球温暖化対策の推進のため、電気自動車の導入補助件数の拡充および急速充電設備設置に関する補助の新設などを実施

☆問い合わせに一元的に対応するコンタクトセンターの運営、保育事業や道路照明灯へのICT(情報通信技術)の活用、映像通報システムや救急活動のデジタル化など、デジタル市役所・スマートシティの取り組みを推進

☆スマホの取り扱いに関する講座や相談窓口の設置などを実施

☆介護人材の育成支援に対する補助の拡充、保育士・幼稚園教諭などの人材確保策の充実、地域医療などを担う看護人材の定着に向けた支援を実施

☆市民会館や旧南市民図書館など生活・文化拠点の再整備に向けた取り組みを推進

☆「チームFUJISAWA2020」と市内大学との連携事業を開始

☆プロスポーツチームと地域との交流事業を支援、今後のスポーツ施設のあり方を検討するための基礎調査など安心して利用できるスポーツ環境整備を推進



救急活動のデジタル化



スマホ何でも相談窓口

「藤沢市市政運営の総合指針2024」における3つのまちづくりコンセプト

2021年に策定した「藤沢市市政運営の総合指針2024」には、SDGsの視点を取り入れ、3つのまちづくりコンセプトを位置付けています。

※詳細は市のホームページの企画政策課のページをご覧ください

○藤沢らしさを未来につなぐ持続可能な元気なまち(サステナブル藤沢)

現在の世代だけでなく、将来の世代のニーズも満たすものであるかどうか、未来の人たちに誇れる取り組みであるかどうか、市の全ての取り組みを問い直し、持続可能な発展を目指します。

○共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち(インクルーシブ藤沢)

誰一人取り残さないという思いで、誰もが暮らしやすく、多様な生き方・考え方を認め合う、多彩な魅力と活力があふれるまちづくりを進めていきます。

○最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち(スマート藤沢)

さまざまな課題に最先端技術を積極的に活用し、市民サービスの向上を図るとともに、ICTの力で市民参加の促進やコミュニティの活性化に取り組みます。

